

World Health Summit Regional Meeting Asia, Kyoto 2015

2015年4月13日(月)・4月14日(火), World Health Summit (WHS) 京都会合を国立京都国際会館(京都市)で開催いたします。

メインテーマ 「Resilience(折れない力)を医療に—医学アカデミアの社会的責任」

今回の WHS 京都会合 2015 では, 日本が世界から注目され, ロールモデルとなりうるテーマとして, 「●超高齢社会への挑戦, ●自然災害への対応と準備, ●次世代リーダーの育成」を取り上げました。「最も注目される5名の研究者(Nature)」の一人高橋政代氏, エボラやエイズ研究の権威 Peter Piot 氏, 社会疫学の創始者 Ichiro Kawachi 氏などの基調講演, 「医療ビッグ・データ」, 「医療技術評価」, 「ソーシャル・キャピタルと健康長寿」, 「健康なまちをデザインする」, などを準備しております。

パネル・ディスカッション 「近未来の医療を支えるプライマリ・ケア」

超高齢社会にいち早く到達した日本が, 健康と医療を支えるためにいかに対応するか, その実践に世界中が注目しています。なかでも今日の臓器別に細分化した医療から, プライマリ・ケア医療への転換は必須の方向と考えられており, WHS 京都会合 2015 でも重要なトピックの一つとして位置づけています。

座長 丸山泉(日本プライマリ・ケア連合学会理事長), Thomas S. Inui(Indiana University 教授, 福島県立医科大学特命教授)

演者 Leiyu Shi (Johns Hopkins Primary Care Policy センター長), Amanda Howe (University of East Anglia 教授, 次期世界家庭医療学会会長), Lee Kheng Hock (Singapore General Hospital 准教授, シンガポール家庭医療学会), 草場鉄周(日本プライマリ・ケア連合学会副理事長)

会期 2015年4月13日(月)・4月14日(火)

* パネル・ディスカッションは4月13日午後開催

会場 国立京都国際会館

主催 京都大学 **共催** 福島県立医科大学

後援 文部科学省, 復興庁, 外務省, 厚生労働省, 経済産業省, 国土交通省, 第29回日本医学学会総会 2015 関西, 日本プライマリ・ケア連合学会

事前申込 必要(Web登録) 2014年11月30日に開始

参加費用 事前登録: 一般 20,000 円, 研究者 13,000 円, 学生 2,000 円。

取得可能単位 日本プライマリ・ケア連合学会専門医/認定医(予定)

公式ホームページ <http://www.worldhealthsummit.org>

問合せ先 E-mail : office@worldhealthsummit.jp